

技術・ものづくりによるお客様・社会への貢献



新光電気グループは、ものづくりにおいて業界一、世界一の品質を目指し、お客様の期待に応える優れた製品の開発・製造に注力してまいりました。私たちは、発想と行動の原点を常にお客様に置き、お客様の成功に貢献し、ともに成長し、世界中のお客様から信頼されるビジネスパートナーとなることを目指しています。

品質でお客様と社会の信頼を支える

新光電気グループは、ものづくりを通じて社会の発展、人々の豊かな暮らしに貢献するとともに、お客様にご満足いただき、信頼していただける製品をご提供することを目指しています。新光電気グループは、品質を事業活動の根幹に関わる事項としてとらえ、その維持・向上に日々たゆまず取り組みます。

品質方針

私たちは「品質方針」に基づき、価値の高い製品とサービスで、お客様と社会から信頼される企業であり続けます。

品質方針

新光電気工業グループは、SHINKO Wayの企業理念に基づき、経営基盤の一つである品質を大切に、価値の高い製品とサービスで、お客様と社会から信頼される企業であり続けます。これを達成するため、全社員が次の指針で行動します。

【行動指針】

1. お客様起点での品質追求
2. 変化を先取りした品質づくり
3. 社会的責任を果たす品質の確保
4. 五ゲン主義（現場、現物、現実、原理、原則）による継続的改善
5. 品質を考える人づくり

新光電気工業株式会社
代表取締役社長

製品の質・仕事の質を高める品質基礎教育

お客様や市場のニーズの変化は速く、これらを的確にとらえ、さらなるお客様の満足度向上のため、関連部門に対して継続的に品質基礎教育を行っています。品質マネジメントシステム・統計的工程管理手法および品質工学などについて、社内認定されたトレーナーが教育を行うとともに実務に直結した支援活動を行っています。

さらに品質マインドの醸成・向上をはかるため、2019年度に従来の品質関係教育体系の見直しを行いました。

■品質基礎教育 1

初めて製造業に携わる社員を主な対象に、品質問題が企業や社員に与える影響を紹介し、品質問題発生を防ぐために自分達はどう考え、どう行動するかを学ぶコース。

■品質基礎教育 2

中堅社員を主な対象に、品質基礎教育 1 をベースにしてより高度な品質管理の考え方と仕組み、業務中での品質管理の重要性、社内ですでに使われる手法やしくみを学ぶコース。

これら2つのコースを関係各部門に対し、のべ28回開催し、407名が受講しました。

展示会への出展

お客様や市場のニーズをとらえる機会として、また新製品・新技術を中心に新光電気グループの製品をわかりやすくご説明するため、国内および海外で開催される展示会への出展を継続して行い、お客様の声を製品・技術開発や販売活動等へ反映させています。

COMPAMED 2019

2019年11月18日から21日の4日間にわたり、ドイツ・デュッセルドルフで開催された「COMPAMED 2019（国際医療機器技術・部品展）」に2015年度の初出展から継続して5回目の出展をしました。医療分野のウェアラブル機器向けに特化したワイヤレスセンサーモジュールなどをご紹介し、市場の要求事項を確認しました。

第12回 オートモーティブワールド

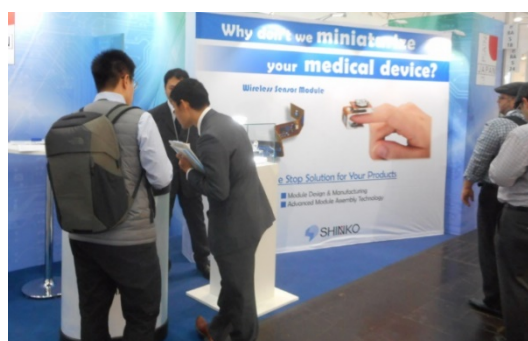
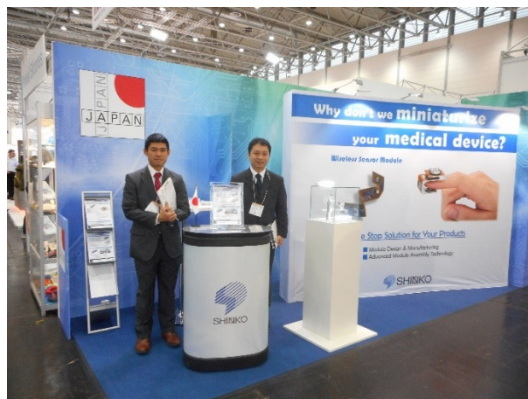
2020年1月に東京ビッグサイトで開催された「第12回オートモーティブワールド」では、POL(Power Overlay)が組み込まれたインバーターモジュール等、当社製品の利用をイメージできる展示を行いました。展示ブースには3日間で100名を超えるお客様にご来場いただき大きな関心を持っていただきました。

安全と信頼への取り組み

安全保障輸出管理について

当社は安全保障貿易管理関係法令を遵守し、違反を未然に防ぐための内部規程「安全保障輸出管理規程」を制定し、適切な安全保障輸出管理を実施しています。

また、新入社員や新任管理職、輸出製品に携わる社員への定期的な教育を通じ、法令遵守の意識を高めています。



〔COMPAMED 2019〕



〔第12回 オートモーティブワールド〕